

■別紙：「私たちの協働の取組」の内容

<身近に取り組めるもの>	<地域で一緒になって取り組むこと>
基本目標Ⅰ	
次世代育成支援の充実を図ります	
●子育てへの不安や悩みは抱え込まず、相談窓口や身近な人に相談します。 ●買い物などのときなど普段の生活の中で子どもを連れて困っている人には手助けをします。	●地域ぐるみで子どもが育つ環境と体制を整えます。 ●子育てにやさしい職場環境づくりを応援します。
保健・予防や健康づくりを推進します	
●自分や家族の健康に関心を持ち、ウォーキング等の自分のできる健康づくりからはじめます。 ●子どもの健診や予防接種は、きちんと受診します。 ●1年に1回は健康診査やがん検診を受けます。 ●職場や地域で開催される、健康に関する学習会や催しには、積極的に参加します。 ●森林浴や温泉、スポーツ施設等の地域にある資源を活用し、心身の癒しや健康づくりに努めます。	●地域に住む人がお互いの健康に気を配り合い、相談しやすい地域をつくります。 ●公民館単位で取り組んでいる健康づくり活動に、みんなで参加し、地域全体で盛り上げていきます。 ●地域にある様々な機関・団体と連携して健康に関する取組を行います。 ●地域や職場において、心と身体の病気に対する理解に努めます。
救急・医療体制の充実を図ります	
●「かかりつけ医」を持ち、重症化しないうちに、早めに受診するよう努めます。 ●自分や家族の病気や不安な症状があれば、身内、知人に相談、またはまず健康ダイヤル24等を利用して、知恵を借ります。 ●安易な時間外受診や救急車利用は控えます。	●病院や病気のことを相談し合えるご近所づきあいができる地域づくりを行います。 ●地域における健康づくり活動に参加し、健康維持に努めます。
地域福祉の充実を図ります	
●移動などの際に困っている高齢者や障がい者がいたら、「お手伝いしましょうか」と声をかけます。 ●近隣の高齢者に日頃からあいさつをするなど、声を掛け、見守ります。	●お互いに助け合い、支え合うことができる、高齢者にも障がい者にもやさしい地域を形成します ●地域の活動等に、高齢者や障がい者が参画できる機会をつくります。
人権を尊重し、男女共同参画を推進します	
●人権問題を自分自身の問題としてとらえ、日々の生活の中で人権尊重に向けた取組を行います。 ●私たち一人ひとりが、個性や多様性を認め合い、お互いを尊重し合えるようにします。 ●家庭や職場で根深く残っている固定的な性別役割分担意識を男女平等の視点から見直します。	●誰もが地域の一員として参画できる地域づくりを行います。 ●地域ぐるみで、差別や偏見をなくします。 ●地域社会の中で男女共同参画の意識を高めます。

<身近に取り組めるもの>	<地域で一緒になって取り組むこと>
基本目標Ⅱ	
次代を担う人を育てる教育の充実を図ります	
● 益田市に誇りを持ち、ふるさとを大切に思う心を育みます。 ● 地域の子どもたちに声掛けをします。 ● 子どもの教育に関心を持って、学校行事に積極的に参加します。	● 地域ぐるみで子どもが育つ環境と体制を整えます。
地域に根づく食育・食農教育を推進します	
● 食への感謝の心を持ち、それを子どもたちに伝えます。 ● 食材として地元産品を選択します。 ● 規則正しい生活リズムを心がけ、3食しっかり食べます。 ● 家庭や地域に伝わる季節料理や行事食、伝統料理を大切にします。	● 地域の食文化を大切にし、地域全体で守っていきます。 ● 地域の食文化や地元産品を使った食を地域の資源として活用します。 ● 早寝早起き朝ごはん運動を地域ぐるみで広げていきます。
地域・世代を越えた学習機会を創出します	
● 各学習活動の講師・指導役として声がかかった場合は、協力します。 ● 公民館での学習活動に積極的に参加します。	● 地域に住む知識や技術を持った人材の掘り起こしを行い、その人材の蓄積・活用を行います。
歴史・文化の保存・継承・活用や芸術活動を推進します	
● 地域に残る歴史・文化資源のことを知り、市内外の人にPRします。 ● 私たち一人ひとりが地域の歴史・文化資源を巡り、学ぶ機会をつくれます。	● 地域で歴史・文化資源の掘り起こしを行います。 ● 民話や昔の暮らし・体験を聞く機会を増やします。 ● 地域の活動団体を中心に連携します。
生涯スポーツ社会の実現に取り組みます	
● 地域で行われるスポーツ大会等に参加します。 ● 健康づくりのためにスポーツに取り組みます。	● 地域で行われるスポーツ大会等を支援します。 ● スポーツによる他地域との交流を地域全体で行います。 ● 地域で運動会等のスポーツ大会を開催します。

<身近に取り組めるもの>	<地域で一緒になって取り組むこと>
基本目標Ⅲ	
特徴ある農林水産業の基盤を強化します	
● 農地は放置しないようにします。 ● 森林ボランティアに参加します。 ● 農業体験や市民農園を活用し農業に親しみます。	● 地域の里山や農地は地域全体で守るよう協力します。 ● 農林水産業の就業に意欲のある人を地域で快く受け入れます。
こだわりの益田ブランドを推進します	
● 益田産の食材や製品を購入します。 ● 益田産の食材を市内外の人に口コミでPRします。	● 農産物等のブランド化のために生産者の足並みをそろえます。 ● 加工品や特産品のアイデアを出し合います。 ● 地域全体でPRする体制をつくります。
市内の産業構造や基盤を強化します	
● 地元で製造された商品の購入や地元の事業者等が提供しているサービスを利用します。 ● 身近な人が地元で就職しやすく、またUターンで帰ってきやすい環境をつくります。	● Iターン者を地域で歓迎します。 ● 地域の特性を活かしたサービスや商品開発に協力します。
新産業の創出や起業支援を行います	
● バイオマスの利活用のために、廃食用油の分別回収等に協力します。 ● 新たな技術、資格の習得に取り組みます。	● 地域全体でソーシャルビジネスやコミュニティビジネスについて考え、教育機関、地元企業等と連携、交流を図り、地域全体で事業を支えます。
観光・交流を促進します	
● 私たち一人ひとりが自分の住むまちのことを知り、誇りに思い、その魅力を市内外の人に伝えます。 ● 特技や知識を活かしたおもてなし意識を高めます。 ● 外国語の知識を活かした観光ガイド役を引き受けます。 ● 萩・石見空港マラソン大会にボランティアスタッフとして参加し、おもてなしに努めます。	● 地域ぐるみで自然や歴史・文化等の様々な資源・宝の掘り起こしを行い、積極的にPRします。 ● 地域主体の観光・交流のためのメニューづくりを行います。 ● 地域における外国人の受け入れ体制を整えます。

<身近に取り組めるもの>	<地域で一緒になって取り組むこと>
基本目標Ⅳ	
市内外のアクセスを確保する道路網を整備します	
● 家の前の道路の清掃など、身の回りの環境維持に努めます。	● 地域で道路の環境維持活動に取り組みます。
生活を支える公共交通機関を整備します	
● 路線バスやＪＲを利用します。 ● 萩・石見空港を利用します。 ● ノーマイカーデーの取組に参加します。	● 地域の助け合いの中でできる新たな生活交通について検討します。
魅力ある市街地を形成します	
● 身近な景観づくりに取り組みます。 ● 駅前のにぎわいづくりに参加します。 ● 自宅の新築、改修の際には赤瓦を使います。	● 地域全体で一体的な景観づくりに取り組みます。
ブロードバンド環境の整備などによる地域情報化を推進します	
● パソコン等の使い方を学び、積極的に情報通信基盤を活用します。	● パソコンを教え合うなど、地域の助け合いの中で地域内での情報交流を進めます。
基本目標Ⅴ	
暮らしやすい住環境を創出します	
● 地域の商業機能維持のためにも地元で買い物をします。 ● 公園や広場等の清掃活動には積極的に参加します。	● 公園や広場等の清掃活動を地域で行うなど、地域内の憩いの場の維持・管理に協力します。
人と地球にやさしい地域環境を形成します	
● 家庭から出るごみの量を減らします。 ● ルールどおりごみの分別を行います。 ● 積極的に環境活動や美化活動に参加します。	● 地域全体で環境活動や美化活動を企画・実施します。
豊かな自然環境を保全します	
● 自然環境を大切に思う心を育みます。 ● 河川の清掃や森林の管理などの良好な環境を維持するための取組に参加します。	● 地域ぐるみで河川清掃や森林管理を行います。

<身近に取り組めるもの>	<地域で一緒になって取り組むこと>
基本目標Ⅵ	
地域の安全対策を強化します	
● 消費者トラブルに巻き込まれたらひとりで抱え込まず、益田市消費生活センターに相談します。 ● 車や自転車等の運転マナーに気をつけ、事故のないよう注意します。 ● 不審者情報の提供に努めます。 ● 散歩や玄関前の掃除などを子どもの登下校の時間にあわせて行い、声掛け等を行います。	● 地域で子ども見守り隊を結成するなど、地域が主体となった防犯活動を行います。 ● 防犯のためにも、地域内の声掛け運動からはじめます。
自助・共助・公助の消防・防災体制を強化します	
● 各地域での防災学習会等に参加し、まず自助の意識を高めます。 ● 身近にある災害危険箇所を確認します。 ● いざというときにいつでも避難できるように、日頃から避難準備を行います。 ● 益田市安全安心メールに登録します。	● 自助で足りない部分は共助で補えるよう、地域ごとに自主防災組織を立ち上げます。 ● 地域の災害危険箇所は地域全体で把握・確認し、地域住民全員での情報共有を行います。
多様な主体が参画する地域自治組織の形成を促進します	
● 地域自治への認識を高めます。 ● 自治会活動に積極的に取り組みます。 ● 市民活動団体やNPO法人等の活動に参加します。	● 地域自治組織を立ち上げ、集落のこれからを地域全体で考える仕組みをつくります。
地域への定住を確保するための集落対策を促進します	
● 市外で暮らしている家族や友人に「帰りんちゃい」と声掛けを行います。 ● 市外の人に益田暮らしの魅力をPRします。	● U・Iターン者を地域で受け入れる体制を整えます。 ● 地域を訪れる人を「おかえりなさいの心」で迎えます。
基本目標Ⅶ	
市民と行政の協働を推進します	
● これからの益田市のまちづくりについて一緒に考えます。 ● 市政懇談会や市民ワークショップ等に積極的かつ主体的に参画します。	● 各地域で地域自治の取組みを積極的に進めます。 ● これからの地域を担う人材を育成・確保します。 ● 各地域の活動間で情報を共有し、連携・協力できるような関係づくりを行います。
分かりやすく開かれた行政を推進します	
● 発信される行政情報に関心を持ち、受け取ります。 ● 質問や意見・提言を積極的に市へ届けます。	● 総合振興計画の内容について地域で話をする機会を持ち、関心を高めます。 ● 各地域で行われている議会報告会に地域全体で積極的に参加します。
効率的かつ効果的で健全な行財政運営を行います	
● 行財政運営に関心を持ち、適正な運営がされているかどうかチェックします。	● 効率的かつ効果的で健全な行財政運営のあり方について、地域も一緒になって考えます。